

第105回「防災まちづくり談義の会」レポート

(防災塾・だるま・ホームページ: <http://darumajin.sakura.ne.jp/>)

平成26年3月

日時: 2014年3月11日(金) 18:00-19:30 場所: 神奈川大学 16号館 視聴覚室B

◆主催: 防災塾・だるま 司会: 山田(美)さん

◆談義の会参加者: 会員 23名 一般 1名 計 24名 (敬称略)

(会員) 池田、荏本、菊地、窪田、中島、森、山口(昭)、田中(喜)、山田(美)、片山、田中(晃)、玉井、佐々木、鈴木、石井(榮)、石井(邦)、後藤(浩)、磯野、岩楯、西島、早川、紅林、西川 (一般) 濱野

司会の山田(美)さん



I. 「防災塾・だるま」活動報告など

1. 運営関係

- ・会員の移動: 西川さん(東京都台東区)が入会され会員総数109名
- ・年会費未納者については、規約に則り対処する
- ・J-DAG資料の公開: 完成版V-1.0をHP上に公開、ダウンロードすれば活用可能(無償)
- ・だるま総会(4/25開催)関連: 新年度事業計画(2014年度)について会員からの提案に協力依頼
- ・2014年度「実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座」準備会: リーダー田中(晃)さん
前年度の委員を主体に協力会員を募る(テーマ案: 災害要支援者対策など)

2. 活動概況など

- 地域の取組みを支援し、防災減災のノウハウを地域に伝える活動
- ・緑区防災減災講座 協力「まちづくりネットワーク緑」: 池田・佐々木・田中(晃)・中島さん他
3/8(土) 「巨大地震に備えて 東日本大震災から学ぶこと」 講師: 佐藤孝治先生
- ・神奈川区沢渡地区の防災訓練 報告: 紅林さん
3/5(水) リヤカーを出して準備したが、高齢者の参加がなく訓練が消化不良。
- ・大井町の家具転倒防止対策支援活動 報告: 山田(富)さん
4/27(日) 大井町ふれあい広場 実施: 防災まちづくりの会(足柄上郡大井町)

II. 定例会報告: 司会: 山田(美)さん(参加者: 会員21名 一般0名 計21名)

(1) 活動報告・意見交換

横浜青年会議所「Bo-sai2014」参加(3/8)

- ◆7テントを使ってJ-DAG2回実施、会議所会員を主体にゲーム参加者約20+20名、行政参加者もあり熱心な体験ができた。(リーダー・片山さん)。
- ◆だるま活動紹介のパネル展示及びチラシ配布を行った、テントが会場の端で立地が悪く来訪者が少なかった。(リーダー・加藤さん)
- ◆だるま会員: 参加者9名+当日参観者7名

中区地区連別減災対策事業・港中学の経過報告

- ◆地区連別事業: 12地区連の内、森さん地区は「まち歩き」の実績があり、話が円滑に進行。佐藤さん地区、一時避難所までをよく調べている。地区別のギャップが大きい。
- ◆港中学: 卒業式を控え多用で現在打合せ中断。

pg. 1

群馬大・片田先生の講演会・・・釜石の奇跡(3/9)

- ◆「近年の大規模災害に学ぶ 地域防災のあり方」
- ・先人の教えがあっても、生活感から被災体験の無い親世代は逃げない、だから子供達も逃げない。
- ・人情に厚い気質から親族を助けようとして被災。
- ・自分は絶対逃げる、親も逃げてくれと言う絶対的な信頼感の構築が防災教育(津波てんでんこ)。
- ◆防災教育が「恐怖の教育」になっている問題。
- ◆予約制で定員500名、ほぼ満席(黒岩知事挨拶)(報告: 中島・早川さん)

防災科研「リスク社会のイノベーション2014」(3/7)

- ◆今年度行政と民間との情報共有化をテーマとして取組み、「神奈川県地震と火山災害」もその一環。
- ・・・セミナー情報(P-3)第6項参照
- ◆神奈川県では「e-防災マップ」が活用できる。(報告: 高松さん)

III. 第105回談義の会 (司会：山田(美)さん)

テーマ：「3.11から3年 被災地復旧の現状と課題」 ～経済学者の視点から～

講師：佐藤 孝治氏 (神奈川大学経済学部教授、防災塾・だるま顧問)



★東日本大震災発生直後の4月、いち早く現地調査に入られて以来21回の調査を重ねられた佐藤先生からの数々の課題と提言

教科書に出てこない伊勢湾台風(1959年)、超大型台風の災害を風化させてはならない。



＜三陸沿岸の経験から学ぶこと＞

- ① 人口減少・高齢化の中での災害対策
- ② 公助・共助・自助、NPO活動の検証
- ③ 高齢者の健康・寒冷対策・孤独対策
- ④ 過信は禁物(判断を遅らせた事例が多い)
- ⑤ 津波遡上の検証(河川・道路など)
- ⑥ ガレキ処理対策の重要性
- ⑦ 記憶の伝承と防災教育
- ⑧ 原発立地と事故対策の点検・検証
- ⑨ 女性のための防災対策
- ⑩ 防災無線以外の連絡手段(臨時災害放送局)

＜首都直下地震による被害想定と対策＞

日本人には、考えたくないことは考えない性癖がある

- ◇ 避難所生活者数=約720万人・・・首都圏に復興住宅を建てる場所は殆んど無い(集団疎開の必要性が生じる)
- ◇ 自治体職員にも犠牲が生じ、行政機能や社会サービスが果たせない甚大なりリスクが起こる
- ◇ 東京湾コンビナートにおける大規模災害の発生・・・東京湾海上火災の懸念
- ◇ 東京湾内の火力発電所の大規模な被災・・・電力供給が長期間途絶える
- ◇ 大規模被災による死者とその処遇

★佐藤先生の講演第2弾を開催します(時間不足で内容的にかなり省略部分があったため)。

日時：4月17日(木)14:00～17:00 場所：別途連絡します。

IV. 今後の予定

0. 臨時役員会(2013年度総会関連事項の検討)：3月25日(火)10時～12時 851 荏本研究室

1. 平成26年4月例会 4月25日(金) 場所：神奈川大学 1号館 301号室

だるま平成25年度総会&4月定例会 15:30～17:30

第106回防災まちづくり談義の会 18:00～19:30

話題：「3.11後の防災関連法案の改訂など」

講師：中川 和之 氏(時事通信社)

(役員会：4/8(火) 資料準備：4/22(火) 10-12時 851荏本研究室)

2. 平成26年5月例会 5月30日(金) 場所：神奈川大学 1号館 301号室

だるま5月定例会 15:30～17:30

第107回防災まちづくり談義の会 18:00～19:30

話題：「火山と防災 ～富士山・箱根火山を例にして～

講師：平田 大二 氏（神奈川県立生命の星・地球博物館）
（役員会：5/13(火) 資料準備：5/27(火) 10-12時 851荏本研究室）

<配布資料>

- (1) 横浜市都市計画マスタープラン（プラン名・担当課名）全体構想平成25年3月
- (2) 墨田区老朽建築物等の適正管理に関する条例（2014.1.21）
- (3) 町田市「住宅の耐震化を応援」耐震診断・耐震助成・相談会・広報（2013.12.21）
- (4) 神大と周辺4自治会町内会が大規模地震発生時の減災応援協力覚書（H26.1.24）
- (5) 町田市のトイレマップ ・ 町田市災害時し尿収集運搬協定（2014.1.11）
- (6) 中区は外国人の多いまち～ともに暮らすまちへ～*5つの言語で放送中：青葉区
- (7) HUG：①横浜市緑区の講演で紹介（H26.1.25） ②朝日新聞で紹介（H26.1.29）
- (8) 墨田区議会（2014.1.13）：① 乳児幼児の防災対策 ② 災害時の避難勧告
- (9) 2014年 震災から学ぶ様々な施設（兵庫県内）

《セミナー・講演会・イベント情報》・・・池田さん収集情報

1. 3月11日（火）～30日（日）今、福島から伝えること
～3.11大災害、福島原発事故を忘れない～
放送ライブラリー8F（横浜：みなとみらい線・日本大通り駅前） 無料 申込不要
<https://www.bpcj.or.jp/sp/event/>
2. 3月18日（火） ママはお天気博士～異常気象から子どもを守るために～ 要予約 定員80名
10:30～12:00 講師：平井 信行氏（NHKお天気キャスター） 参加費：800円
会場：アートフォーラムあざみ野 主催：男女共同参画センター横浜北 045-910-5700
<http://www.women.city.yokohama.jp/find-from-p/p-seminar/search/detail/?id=4419>
3. 4月5日（日） 歴史災害を伝える ～「災害史」展示の現状と課題～ 無料 045-201-2169
13:30～17:30 基調：北原 糸子氏 青山学院大学（東京渋谷）14号館11階 申込不要
4. 4月13日（日） 親子で学ぶ地震と防災～ゲームと工作で楽しく学ぼう～ 主催：横浜市立大学
10時～16時 対象：小学生（保護者同伴）・中学生先着50名無料 講師：金亜衣氏市大准教授
申込：3月11日より 会場：横浜市立大学 金沢八景キャンパス 追：同内容で8月3日実施
<http://www.yokohama-cu.ac.jp/ext/lib/20140413jishin.html>
5. 6月14日（土）神大特別講演会「首都直下地震の被害想定見直しと大学・地域の連携」先着80名
13-16:30 講師：吉井博明氏・立花正人横浜市危機管理監・荏本孝久・佐藤孝治神大教授
無料
6. 文科省「地域防災対策支援研究プロジェクト」シンポジウム
3/23日（日） 13:00～16:30 小田原：県立 生命の星・地球博物館
「これから起こりうる 神奈川県地震と火山災害」
 - ・基調講演「地震被害想定とは ～首都直下地震被害想定を事例として～」：吉井博明氏
 - ・パネルディスカッション「備えよう！ これからの神奈川の災害に向けて」http://www.jishin.go.jp/main/herpnews/series/2013/sep/kenkyu09/kenkyu_09.html

記録：中島光明

以上